

第 161 回 第一次大戦後のヨーロッパ①

1 第一次世界大戦後のドイツ

- ・ドイツ社会民主党左派の（ ）と（ ）は、大戦中の 1916 年に革命組織（ ）を結成した。
- ・1918 年 11 月、ドイツ革命により臨時政府が成立し、ドイツ休戦協定が結ばれた。
- ・1918 年 12 月、スパルタクス団を中心に（ ）が結成された。
→1919 年 1 月、スパルタクス団が武装蜂起したが、鎮圧され失敗した。
- ・（ ）が軍部など保守勢力と結び、臨時政府の中心となった。



マルクス主義に恋した女性革命家。ロシア革命を評価しつつも、レーニン率いるロシア共産党の一元独裁については厳しく批判している。ポーランド出身。

ローザ=ルクセンブルク



父のヴィルヘルム=リープクネヒトは、ドイツ社会民主党の創設者である。武装蜂起失敗の際に、逮捕されて処刑された。

カール=リープクネヒト



スパルタクス団の名は、古代ローマで反乱を起こしたスパルタクスにちなむ。反戦と革命を強烈に主張していた。

スパルタクス団のポスター

2 ヴァイマル共和国の成立

- ・1919 年、ヴァイマル国民議会が開かれ、（ ）が制定された。
※男女平等の普通選挙や社会権の保障など、非常に民主的な内容だった。
→この憲法に基づく第一次世界大戦後のドイツを、ヴァイマル共和国という。



- ☆（ ）（1919～1933 年事実上崩壊）
- ◆（ ）（ドイツ社会民主党）（在任 1919～1925 年）
 - ・ヴァイマル共和国の初代大統領となったが、政権と経済は安定しなかった。
 - ・1922 年、（ ）を結び、ソヴィエト政権を承認した。

ドイツのエーベルト大統領

- ・ドイツは、巨額の（ ）に苦しみ、国民の生活を圧迫した。
→1923 年、賠償金支払いの遅れを口実に、（ ）と（ ）が、ドイツの工業地帯である（ ）を占領した。
→ストライキなどで抵抗した結果、工業生産が停滞し極度の（ ）が発生したため、経済は大混乱となった。
→首相の（ ）が（ ）を発行すると、インフレは奇跡的に収まった。



フランスの首相で大統領も経験した。とにかくドイツに対して厳しい態度を取り続け、ルール占領を強行したが、これは非難を浴びた。

フランスのポワンカレ首相



進軍するフランス兵

ルール地方はライン川の流域にあり、豊富な石炭に恵まれたドイツ有数の工業地帯である。ドイツ人は仕事をサボることで占領に抵抗した。



札束で遊ぶ子供

ドイツ経済は大混乱におちいり、物価は 1 兆倍となった。古い札束は紙くずになり、子供のおもちゃや壁紙として使われた。

3 ドイツの賠償問題

- ドイツの賠償金は、1921年に総額1320億金マルクと決定されていた。
→天文学的な数字であったため、ドイツ経済は混乱し、不満も高まっていた。
→ルール占領の失敗後、各国はドイツ経済の復興を優先させる方針をとった。

- 1924年、()により、支払期限を延長して外貨導入による経済再建を目指すこととなった。
→これによりドイツの経済は徐々に安定していった。
- 1929年、()によりドイツの賠償金額は大幅に減額された。
→世界恐慌後の1932年、ローザンヌ会議で30億金マルクまで減額された。
- 1925年、シュトレゼマン外相の努力により()が締結され、翌年()も認められた。



ドイツのシュトレゼマン
ロカルノ条約締結時は外相で、ノーベル平和賞も受賞した。ヴァイマル共和国が一番安定していた時代の政治家である。

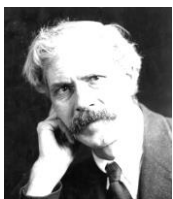
4 第一次世界大戦後のイギリス

- イギリスは第一次世界大戦の戦勝国となったが、戦争で大きな打撃を受け、世界中にある植民地の維持が難しくなっていた。



ロイド=ジョージ
第一次世界大戦中に、挙国一致内閣の首相を務めた。自由党からの最後の首相となった。

- ◆ () (挙国一致内閣) (在任1916~1922年)
 - 1918年、()で、21歳以上の男性と30歳以上の女性に選挙権が与えられ、はじめて普通選挙と()が実現した。
 - 1921年、英ソ通商協定により、ソヴィエト政権への経済封鎖を解いた。
 - アイルランドでは、急進的な()が勢力を伸ばした。
→1922年、()としてイギリスの自治領となった。
→1937年、国名を()と改称し、完全独立を果たした。
→独立運動の指導者デ=ヴァレラが初代首相となった。



マクドナルド

- ◆ () (第1次) (労働党) (在任1924年)
 - 1924年、イギリス史上はじめて()が成立した。
 - 1924年、列強では最初に()を承認した。



ボールドウィン
このころから、保守党と労働党の二大政党制が成立してきた。

- ◆ ボールドウィン (第2次) (保守党) (在任1924~1929年)
 - 1926年のイギリス帝国会議で、すべての自治領(自治を認められた植民地)は本国と同じ地位を与えられ、()が成立した。
→1931年、()で成文化された。
 - 1928年、()で、21歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。